

新建 50 周年企画 中部ブロック 2019. 09. 28~29

建まちセミナー2019 in 佐渡



参加者 32 名（講師含む）にて佐渡島へ。新潟・富山・長野・石川・京都・埼玉・神奈川・東京・岐阜・愛知・大阪支部。新潟・直江津港～佐渡・小木港までフェリーで 100 分でした。

東経 138 度、北緯 38 度で面積約 855k m²、周囲約 263km、面積は東京 23 区の 1.5 倍、沖縄本島に次ぐ大きさです。北側の佐渡には高さ 1172m の金北山、南側の小佐渡には高さ 645m の大地山があります。

■第一講座「佐渡の杉文化と弁才船」真島俊一（TEM 研究所）氏は宮本常一氏へ師事し、佐渡を調査。寄港地・宿根木と再現北前船を。石置き木端葺き屋根のある風景、杉の外壁路は今も多く住人がいました。三角の家、蔵も杉板で覆っていて、竹の防風垣、海、そこに残る風景をととても美しく感じました。

■第二講座「20 世紀の建築空間遺産」小林良雄（新建東京）さん。ファンネレ工場、ジョンソンワックス、セイナツァロ村役場、ユニテについて空間構成の特徴を詳しく聞けました。つづきが楽しみです。

■第三講座「佐渡の歴史風土」本間慎（フェリス女学院名誉教授）。金山・棚田・地下地盤でつながる、豊かな文化、芸能の島で、公家文化・武家文化・北前船文化（商業民族）と三つの文化が混在する。能楽（神社能）狂言、人形芝居、鬼太鼓、佐渡おけさ、相川音頭など多くの芸能がある。トキが野に乱舞する島であり、3つの世界遺産をめざす。地域活性化の専門学校（伝統建築科等）があり、多くの著名人（尾崎紅葉等）が佐渡を訪れた際の逸話をとても楽しく語っていただきました。楽しい学問を若者へ。

■第四講座「佐渡金銀山と相川の鉱山町相川の歴史」濱野浩（佐渡市役所）氏。佐渡金銀山は西三川砂金山→鶴子銀山→相川金銀山と技術 UP の歴史であり、技術は棚田づくりへ引き継がれているとのこと。金銀採掘技術とその職人について、絵付きでとても分かりやすく解説いただきました。金銀山内部と大迫力の選鉱場跡を見学し、陣屋・上町・下町の町割り残る相川の京町界限を見学させていただきました。

■佐渡島入門として、島の大きさと多様な景色・文化・食物・植物を感じました。ぜひ佐渡へ！（黒野）



寄港地・宿根木(重伝建保存地区)



佐渡金銀山・相川選鉱場跡にて

















